

孝石菴書  
十一

多 9  
674  
十一



門ヲ  
義  
卷



新附

敬帝記附  
禄スル故カ

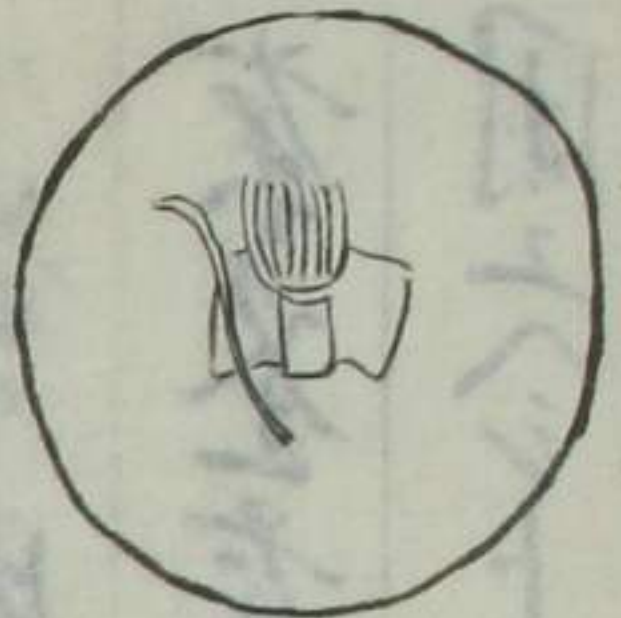
王麟亭 撰

倚石亭 校

仁史島事

世ノレコト  
云足ナリ

仁史島ハ磐ノキリク深クナルヲ用ニ茶ノ葉ヲ入テイサリシ  
リタルヲ用ニ水指ノキリ平々キヲ用ニ茶巾  
茶釜亦似テ水指ノ蓋ノトニユルリトノルヘキヲ  
用ニヘシトカリク水指ノ蓋ノト端ノ有テ用ルガ佳ニ



但し水指の内へ茶葉を入らず  
 湯を注ぎ茶葉を湯に浸し  
 茶碗へ茶を入らず  
 茶碗へ茶を入らず

如圖水指の蓋と巾巻起三品カサル其茶候  
 中茶入テ入レニシテカサルナリ

茶葉が時水建蓋は扱份に此の扱は定候  
 置揚扱にテ容儀候扱に先右の子  
 茶入テ上カラツカリ、此の扱は子にて候ナリ



此の扱は子にて候ナリ  
 此の扱は子にて候ナリ

此の扱は子にて候ナリ  
 此の扱は子にて候ナリ

此の扱は子にて候ナリ  
 此の扱は子にて候ナリ

此の扱は子にて候ナリ  
 此の扱は子にて候ナリ

此の扱は子にて候ナリ  
 此の扱は子にて候ナリ

此の扱は子にて候ナリ  
 此の扱は子にて候ナリ

此の扱は子にて候ナリ  
 此の扱は子にて候ナリ

此の扱は子にて候ナリ  
 此の扱は子にて候ナリ

此の扱は子にて候ナリ  
 此の扱は子にて候ナリ

ノベツケノ事

一立續凡云

ノベツケト云ハ濃茶ノ味ニテ五ニ為茶ヲ忘ルナリト  
 公海ニ有或ハ急ノ時又用事有ク亭ノ方ニ時又  
 急用事有来タル時スナリ如ハ常ニ替ラヌ  
 忘茶ニ茶碗ハ湯ヲ入来ニ湯又又湯ヲアケル時  
 ノベツケノ換抄有リナリ  
ノベツケノ亭ノ方ニ急用有来タル時ハ  
 客方ニ必急カニ急ナリト云ハ此ノ  
 亭ノ下換抄スベシ○又客方ニ急用有来タル時ハ急用ノ  
 五ニ有リト云ハ此ノ亭ノ下換抄スベシ○イワレニ急用有来タル時ハ急用ノ  
 件スルナリ  
 有ハナリト云ハ此ノ亭ノ下換抄スベシ○イワレニ急用有来タル時ハ急用ノ

ノベツケノ換抄有リナリ茶碗ノ中茶巾又

勝手ハ之為茶器ヲ好カニナリノ向ニ急茶碗ヲ取テ  
 フキ茶巾ヲ好ニ換ニ件ノ為茶巾取テ常ノ如ク為茶  
 忘ルニ客為茶各次能ノ客為茶各時上客ヨリ  
 茶入出後後凡ニ洋見込ト九ナリ以時茶抄ヲ  
 水揚ノ口ニカケ但指子ノ方ニカケルナリ茶入九客ノ向茶置  
 帛サハキテ常ノ如クフキテカニテ又修後後カ  
 九此ノ被ヲメテ為茶器ヲ茶入有ニ能ハ急茶抄  
 為茶器ノ上下ニ

以時客為茶点生カニワス改ハ  
 アイサワニテ道ヲ見テ也ナリ次能ノ客

茶碗底に又茶葉ヲ取ル各皆茶ヲ吞ミテハ  
 上杯ヲ先ニ注下換テスルニテ常ノ如ク注  
 水垢ノ蓋ス角又上杯ノ出テ茶器ノ茶垢注下  
 瓦ナリ常ノ如クフキテカニ物投蓋ニ注テ入茶  
 碗坊ノ水垢丸入ハハ茶ノ口スグニ茶入袋取湯子  
 之ハハ茶ノ口暫ク合容通平更カテ茶器蓋茶抄  
 瓦樽子五ナリ

茶通箱茶之湯子

茶通箱茶之湯子ハ茶ノ好テスルテテラズハ  
 自然ニ目取ル各ノ中ニ茶ヲ攪テ將茶ノ  
 湯ノ力又目茶湯スル角テ外ニ茶ヲ攪  
 来スル力濃茶手前ニ攪ルカハ茶ノ成リ  
 的々通箱ノ茶ノ湯ト云テハナリ  
 初メニ茶通箱ニ濃茶ニ種入飾色但茶道  
十三カサリ 只今ノ茶ニテ角柄ノ時ノ字ノ柄カ九早ヲ  
ヲクナリ

かじ上ノ棚ニ飾置ナリ也茶通箱ハ夕テニ置ナリ  
茶入ハ茶通箱内ニツカリ以テ相合ワセテ又  
置リナリ以テ茶入ハ茶入ト袋入茶トテ用テヨシ  
又茶入ニツカ来ニツカ他人ノ止テナキ時ハイズ  
レニテモヨシ

後ノ時茶通箱内ノ茶入ニツカ出シ水指ノ  
前ニカサリ今ニツカ茶入ハ茶通箱内ニ入置テ  
妙柄トモカサリ置ニ

但茶通箱内ノ今ニツカ茶入ハツカリ  
一ツカ置テ中ニ入ラナリ

茶入ハ深火常々留置ナシ

但茶入ハ袋ニ棚ノ丸  
前ノ首ニ上ケ置

茶入ニテ碗ヲおス時帛ヲおサス各茶ヲ一器  
前フリ合團直トテテハ各器向中込テシテ又  
各器向居ル筆常法ハ此ニ茶ノ各器ニ茶ヲ各  
時各器ハ先種ヲ以テ種ハ此ノ今種用意  
茶入ト相合トテテモ後今種ノ茶入モテ種  
タニト云ナリモ時常ニ以テ種今種ハ種各  
茶入ハ種今種ノ今種ト用意ハ此ノ

重テ糸リニツフ以被糸テレ以隨今一様ノ  
茶モ糸ノ下ニテ初ノ向茶通其ヲ取テ  
茶一斗ハソコニテ若ク取也此種ニテ取テ  
ニ下ニ初ノ向ニテ若ク蓋ヲ取テ取テ取テ  
ヲ箱ノ向ニトミ箱ノ向ニ若ク之無一ツノ茶入  
取也 茶入一ツカリヲ箱ノ  
取也ニテ取テ取テ 箱ノ向置若ク蓋ヲ取テ  
箱ヲ又取テ取テ取テ取テ取テ取テ取テ  
取中ニ元ノ此ク蓋取也此茶入ヲ取テ取テ取  
取

能也前並細ヲトキ袋ヲ取テ取テ取テ取  
取下ヨリ袋一ツ上テ取リ 從前取也此茶入ノ  
取也ニテ取テ取テ 取也又  
袋ヲカサテ取テ取テ取テ取テ取テ取テ取  
取ノ向並糸ノ取テ取テ取テ取テ取テ取テ取  
取下ニ並 以時空ヨリ  
一孔アルナリ 一孔ヲ後ニスルテ取テ取テ取  
取也之並並茶取テ取テ取テ取テ取テ取テ取  
スリニ取テ取テ取テ取テ取テ取テ取テ取  
水指ノ前ニ取テ取テ取テ取テ取テ取テ取

碗へ茶ヲトリ茶ヲ急始ル少クも茶ヲ碗ヲ持  
 客向ニ碗ヲお入客方モ始ル如ク茶ヲ一孔ニテ  
 碗ヲお入セテ裁キ茶ヲ各亭ニフリ合テ  
 此時中仕立ヲセ入末ノ客迄茶ヲ各亭客方  
 茶入ハ流度淨シ之儀を下テナリテ耐ハ  
 濃茶手前ノ如ク茶ヲ水指ノ下ニ上テ  
從勝子、  
分上ケル 茶入カ前ニ急吊ルカニテ常ノ如ク  
お入儀カ  
サテテ茶入

茶入カ 茶入カニセシ客方ノ茶入カ  
茶入カ 碗ヲ底ノ亭ニ碗ヲ取テテ  
此時客方  
一孔ニテ 一孔ニテ茶ヲ入ル  
此時客方  
一孔ニテ 一孔ニテ茶ヲ入ル  
 茶入カニ急吊ルカニテ常ノ如ク  
 カケ茶入カ常ノ如ク水指ノ前ニ茶ヲ入ル  
 此ノカサリ帛ニ茶ヲ入ルハ茶ヲ入ル  
 膝ニ下ケ物ヲ水指ノ下ニ茶ヲ入ル



谷ノ蓋ヲスル物抄煎物茶色蓋カケ水指茶色

スル此時客茶入碗後茶抄此時茶色茶色入口ニテ

ナト、換抄ニテカウ物抄茶色ニ体カカテ前門

蓋蓋テ茶色ニ体カ碗ヲ勝手方ニテ茶入カ

カテテ前テ至帛丸カテテ常ノ此ク茶入テキテ

カ入茶抄カ入カカカスコホニカテ茶焼カ

此物カテテアリ此時此水取カ水指水カ

此時客方ヨリ前ニカテテカテ茶入カカカテテ水取カトリカ

此時客方ヨリ前ニカテテ見カ茶入カカテテ

カテ茶入カカテ後勝手ニカ茶道ニカカ客方

ハ後茶入カカ茶抄カ見テ又席ノ茶色

カテ此茶色ニカ茶色ニカテ茶入カカ

カカテカ茶色ニカ

此物カテテ茶色ニカ茶色ニカテテ又カ茶色

此物カテテ茶色ニカ茶色ニカテテ又カ茶色

此物カテテ茶色ニカ茶色ニカテテ又カ茶色

此物カテテ茶色ニカ茶色ニカテテ又カ茶色

此物カテテ茶色ニカ茶色ニカテテ又カ茶色

此物カテテ茶色ニカ茶色ニカテテ又カ茶色

此物カテテ茶色ニカ茶色ニカテテ又カ茶色

長緒一書

長法多入海林用之京素江方常一進  
袋令秋也雅筆述に授アヲサレハ辨理カク

半板田部一書

半板中風解ト云ハ長板ノ一ツ重カワルイナシ  
半板ヲ道方ニ寄テ定ム云々半重クニ風解  
重ナリ長板ノ云々半風解一ツ重クハ長板一ツ  
重ト云々半板ヲ道方ニ寄テ定ム云々半重クニ

風解一ツ重クハ半板ノ中風解ト云ハ長板ノ一  
ナレハ唱遠フナリ半板ノ中風解ト云ハ長板  
一ツ重クハ京前飾月形ルイナシ

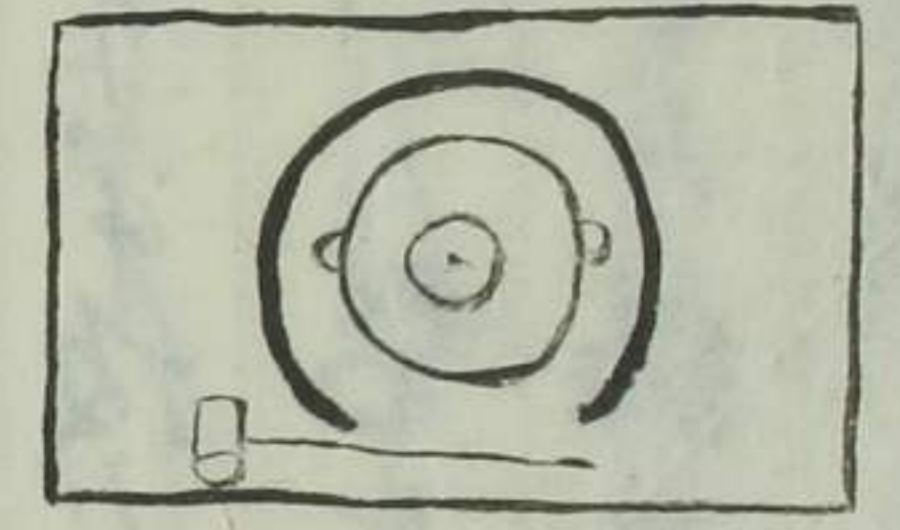
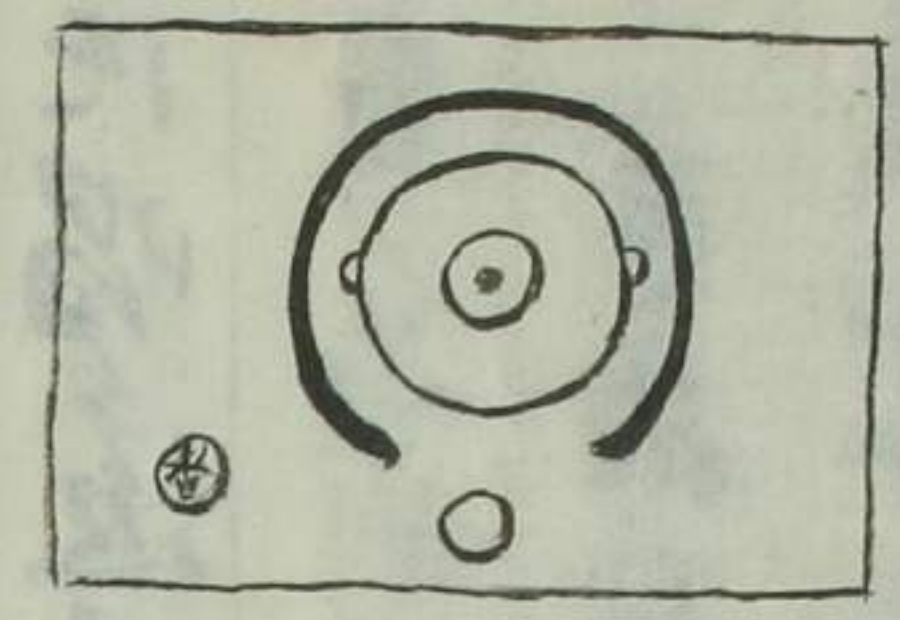
半板勝子月飾風解重一書

半板壁ノ方月形ノ飾也重時ハ大板ト同ク  
ナリ大板ノ江方ハ篇見ニ化

大板ノ道具也ノ重クハ云々半重ト云ハカラス  
是ハ勝子ノ方也テ重ナリ

半板の道具を定めて半板に並べて有指子  
 方(裏)を正(表)にして置く

半板之圖



急茶の時物持(風船)の  
 前横に置く(大板下同)

炭子前(半)勝子(半)半板(半)急茶の時(半)

炭子前(大板)同道具を定めて半板に  
 並べて置く(急茶の時)

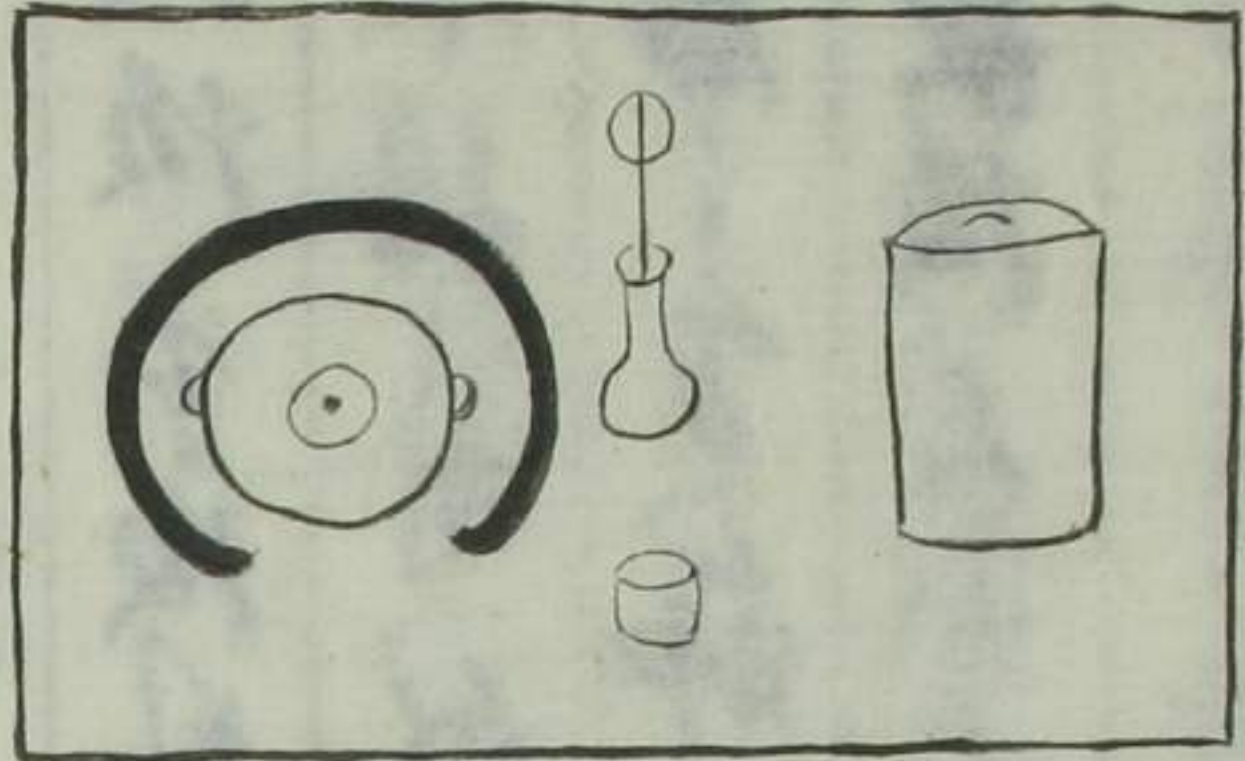
大板(半板)風船(急茶の時)急茶碗

水指(前)飾(急茶の時)長板(急茶の時)

右(急茶の時)飾(急茶の時)

長板(大)小(急茶の時)大(急茶の時)小(急茶の時)

長板煎子餅 煎子餅前奉



如芳餅ヲ煎子餅ト云是ハ  
 煎子ト云井板茶ヲ煎ナリ是板茶  
 煎子ト通リコト長板ト云是  
 向ニ物ヲ之レた方ヲ中ニ下  
 スヘシ

板ノ煎板茶ノ方一板茶ヲ勝子餅ノ方カシ

以テ至急一足ハ大箸ヲ餅リシ時下ニ垂セ

但煎子ノ奉前奉政ノ記

茶入茶碗抄カ水指ノ前ガサリコホシ持カ定死  
 煎碗ヲ取前ニ煎茶入カ前ニ煎テキテ又水指ノ  
 前ニ煎茶抄テキテ茶入カテ茶碗カ合蓋  
 反蓋トシ茶巾トテ物ヲ取湯ヲ汲茶ヲトテ  
 至外常ニ煎茶奉テ以テ煎茶入茶碗カサリ  
 七トスニ  
 煎中茶過ト有温言  
 カサリ七トスニ  
 物抄取カ合水サシ必湯迄

大止ナリ  
他湯通シ又止ナリトテ立有テトシ  
 抄ニテハハ湯通シ波ト温言ナリ  
 栢抄栢建。互建水  
 将入茶入茶碗栢入。定法。通栢抄九坂栢筆。  
 及只栢

長板煮子飾。炭。事。炭年栢水搗。  
 茶。互七風栢ナレ。云。湯栢。栢筆。事。

他栢筆ハ  
 要ト上ニ至

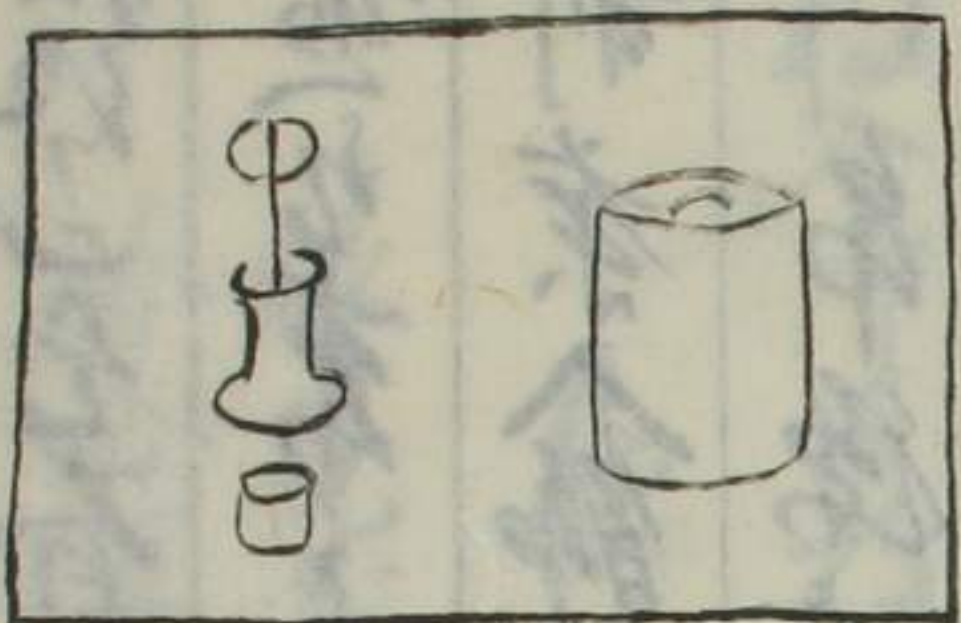
火着。事。出。香。合。事。

他香合。板。上。取。角  
 五十一

長外常。通。

栢ノ長板。事。

栢。長板。ヲ。筆。事。ハ。小。長板。ヲ。毛。筆。ニ。恰。合  
 宜飾。栢。尺。也。



此是水指ト栢建。是。是。三。品。飾。  
 ルナリ。是。是。事。切。ノ。栢。ア。ウ。サ。レ。ハ  
 是。今。又。是。栢。碗。茶。ニ。栢。事。是。ノ。如。リ  
 長板。事。中。水。ガ。ワ。ス。是。有。ル。也。

吹。建。水。抄。是。茶。ス。ル。ノ。法。也。但。是。栢。抄。家。

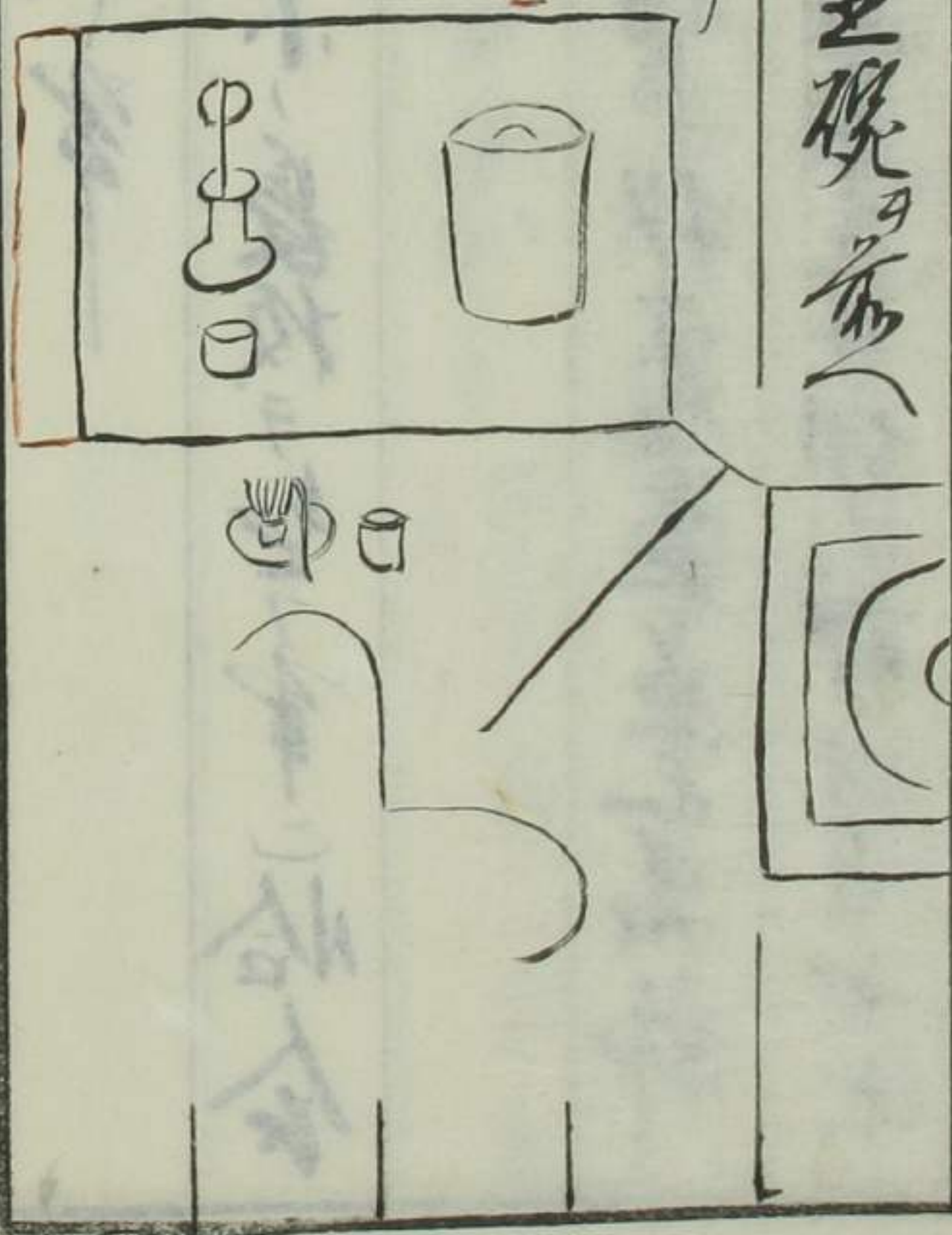
九ノ角ト長板有テ角ト向テ作テ目蓋トシテ  
 長板ノ是角ト是角ト長板ノ是角ト長板ノ是角ト  
 煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト  
 煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト  
 煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト  
 煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト

一ノ角ト長板有テ角ト向テ作テ目蓋トシテ

煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト

煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト

煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト



入カテトテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ  
 長板ノ是角ト長板ノ是角ト長板ノ是角ト長板ノ是角ト  
 煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト  
 煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト  
 煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト  
 煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト煎茶ノ是角ト

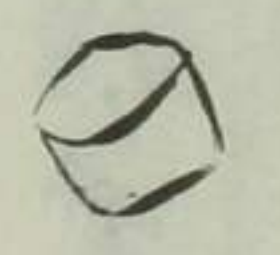
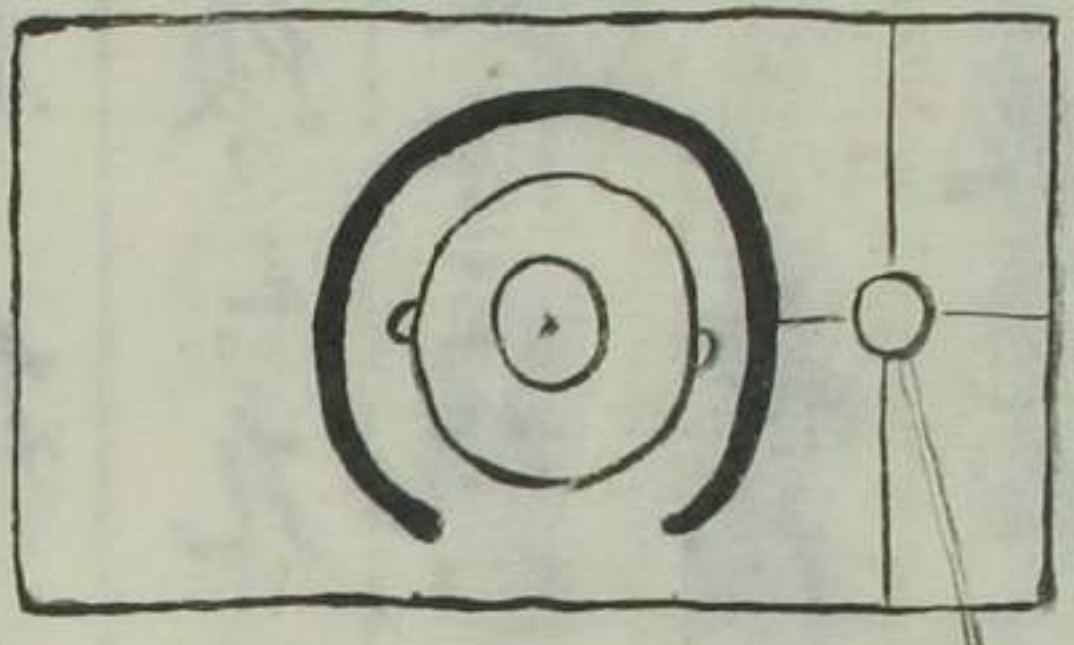
長板ノ是角ト長板ノ是角ト長板ノ是角ト長板ノ是角ト

振亮梅スルニ長板同作一ツ並小長板ヲ用テカ

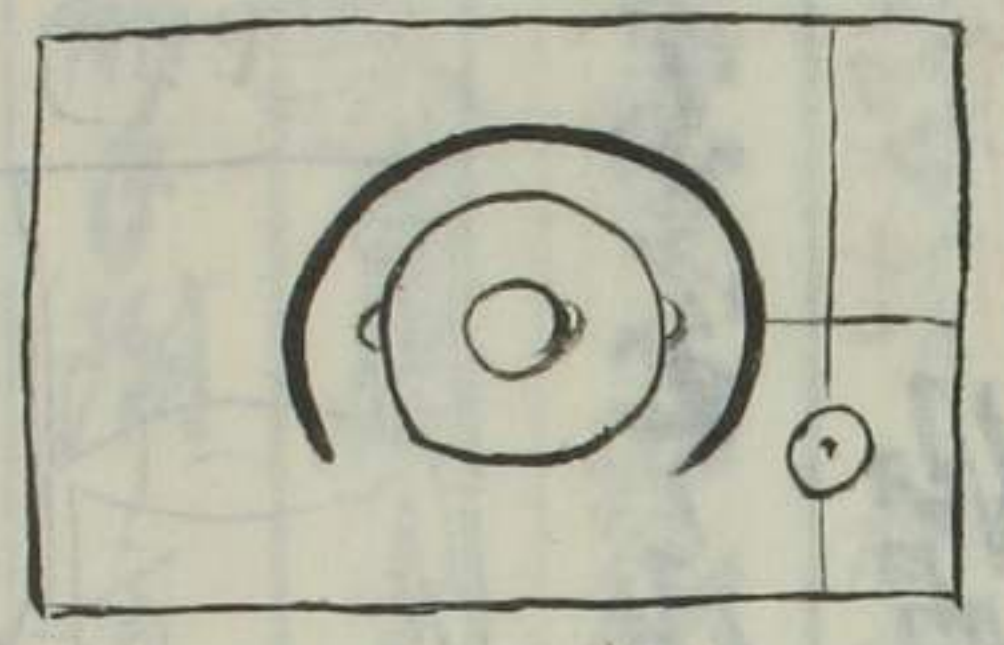
恰合匣キカ

仙傳家室ノ是角ト長板一ツ並小長板ヲ用テカ

柳右ノ志中ニ蓋並ヲ並列抄ヲ引合ニル時  
 抄ヲ九蓋並ヲ前ノ少門合ニ蓋ヲ九カリノ如



カサリ付ル蓋並  
 水蓋全ノ深付ノ  
 通リ蓋抄抄ヲ  
 カケ前ノ少節遠  
 中ニ一蓋



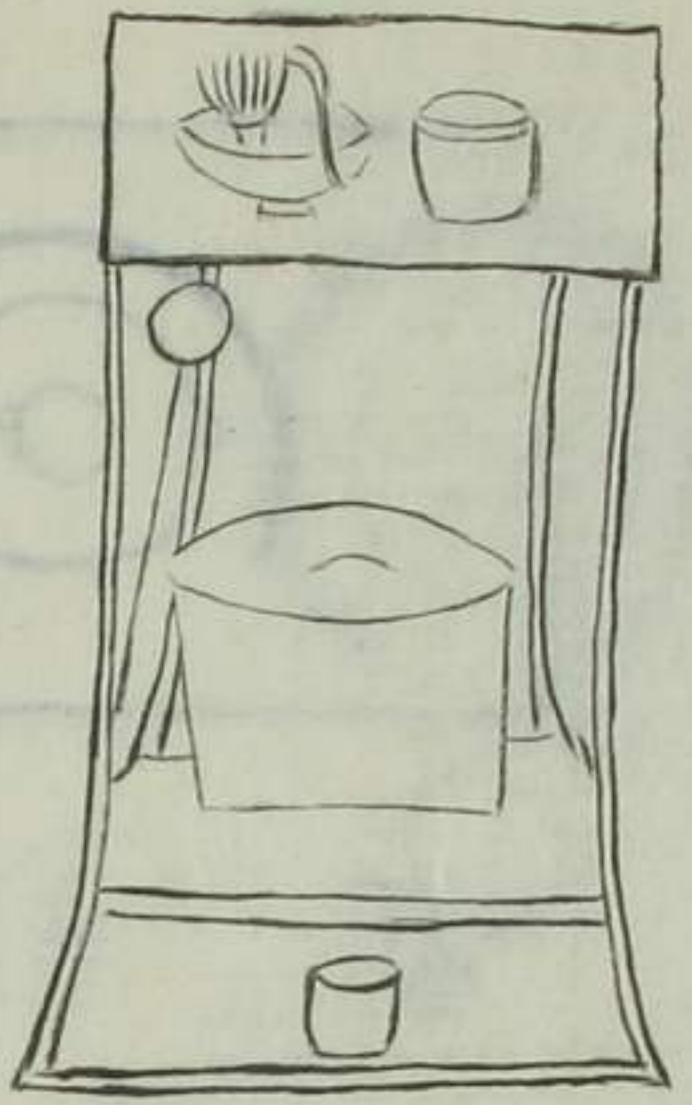
物抄礼合ノ蓋九付  
 蓋並少蓋前ノ門候  
 奈又始終勝子ノ方ノ  
 汗月九ナリ

葉小卓之事

葉小卓ノ口峯抄十ノ四ノ柱多ノ小サキ  
 柳水指ノ蓋ヲ九勝子ノ外ノカケテ

ヨシ水指(右)次(左)水指(右)是(下)水(下)次(上)也

茶小卓(右)



茶指仙(右)又(左)室(右)四方(相)  
トモ(利)体(利)目(仙)

安宗室(右)作(十)り

倚(石)手(按)三(宗)室(右)作(十)り(相)ナ(ル)也  
其(後)世(如)心(存)十(十)ト(云)リ(相)ナ(ル)也

モタセカケルモ  
如心存十(十)

仙(安)宗(室)加(賀)身(後)注(下)利(体)疎(系)

且(子)才(加)賀(身)後(注)此(下)以(相)作(ラ)レ(シ)也

一(安)茶(右)作(十)り(同)三(節)根(茶)也(上)一(相)

茶(入)茶(碗)上(也) 相(作)茶(卓)一(通)リ  
上(ケ)茶(下)モ(也) 中(相)向(板)前(後)

(勝)手(相)方(也)當(由)物(抄)子(之)カ(ケ)也(中)水

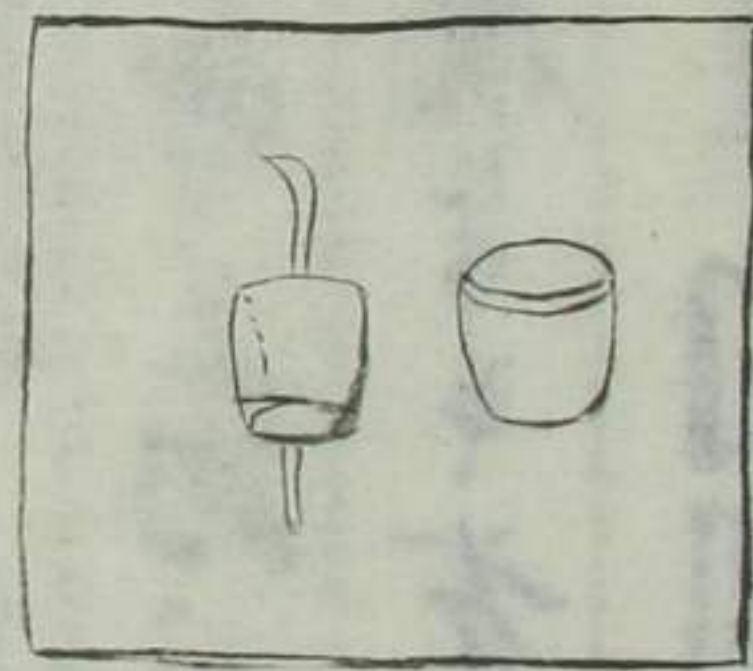
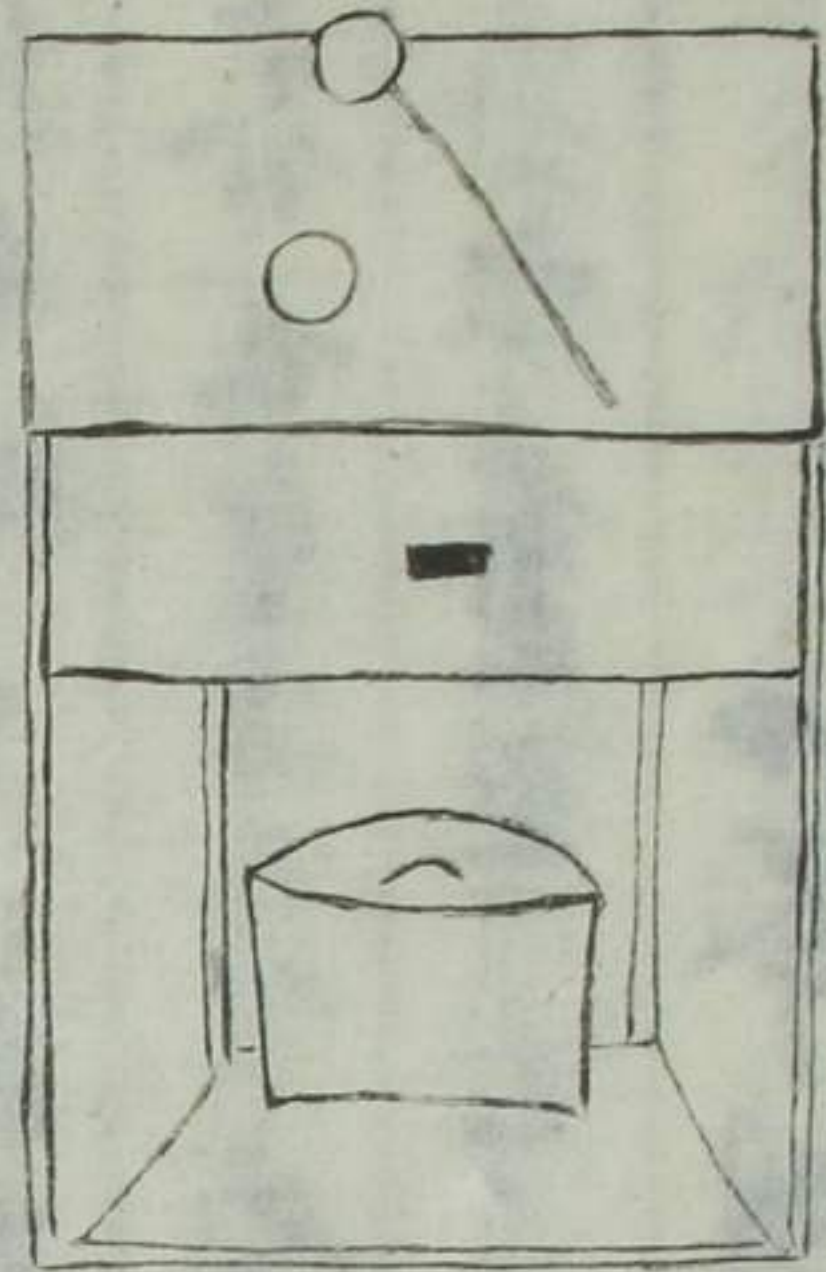
指(中)相(下)也(茶)也(入)也 コホシ(入)ル(ト)モ  
有(是)好 茶(入)茶(抄)

又(只)而(後)有(所)也(老)卓(也)也(上)初(也)物(抄)節(送)

于(上)ケ(茶)也(也)上(ケ)茶(碗)ヒ(ラ)キ(茶)入(茶)抄(也)

仙(安)宗(室)之(事) 日(圖)





引おこし白ハ  
 心管たけり方  
 茶抄帛布  
 方茶入ラ  
 ナリ

上棚蓋並物投斗ニ物抄アヲ又ケテナリナリ  
 遠ク物ヲ下棚水指斗ニ勝手茶碗中  
 茶造おこし

兵治茶碗おこし向候テ前上置門おこし

帛腰ハナニ茶抄茶碗カケ茶入丸お水  
 ナリ前(碗)下飾片ル次建水お物抄  
 蓋並下ニ兵茶入次常進江茶棚  
 茶小卓四方棚トツレモ同様ニナリ中  
 江ナリナリ炭火斗内香合斗お大若  
 ナリ大板半板長板類モ炭火斗内  
 下得候

定張合斗細合斗ニ合ハ細ワカケ

スグニ元ヤウ心海ニシテ体メルニワロキ

ニナリ 海内宗任ノ 子順 将第大誓香合出ニ全交カ  
徳カケテテケル同令ナトモ

はるる  
うら

宗政同四方相利体ノ好況ヲ九支自ナリ

溜ヲ九ノタルニ京叟ナリ

筆毫ノ元入ニ多ク座リ公民為故用ユルニ及

出所ナレハ筆毫ノ水ハ夏拍ナレハ

銀鷲柄水指本分ニカシタルハ銀鷲ナリ皆ニ

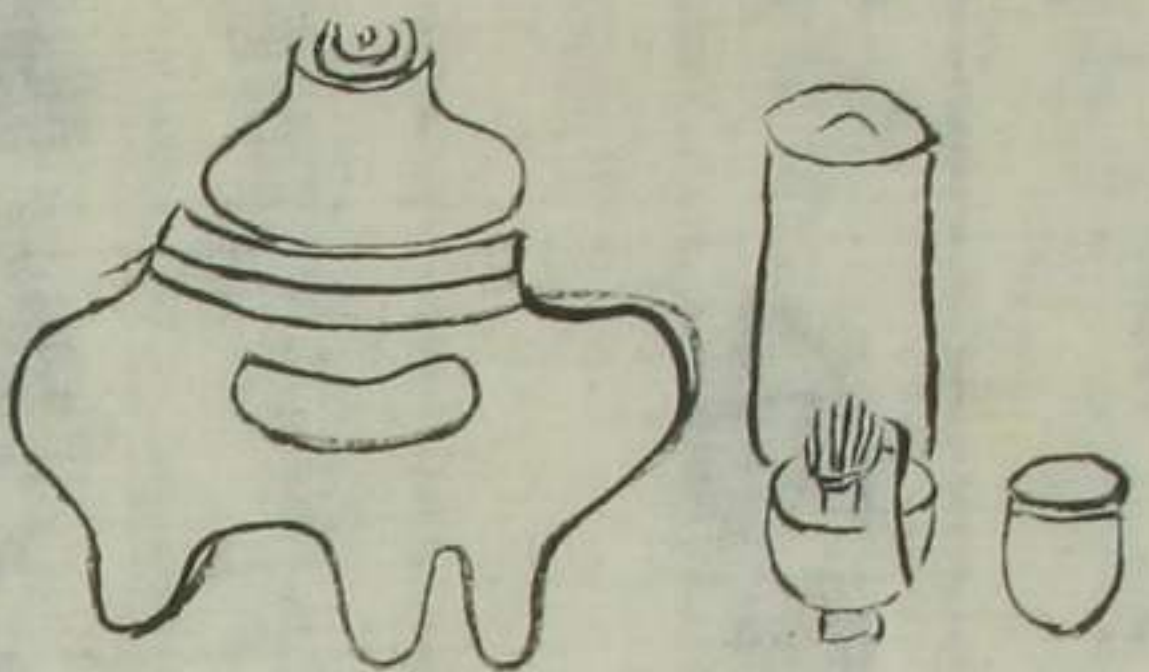
カシタルハ宗且ナリ

掛相ノ横柄ヲ茶席ノ中流愛ニ掛ケ紐キ

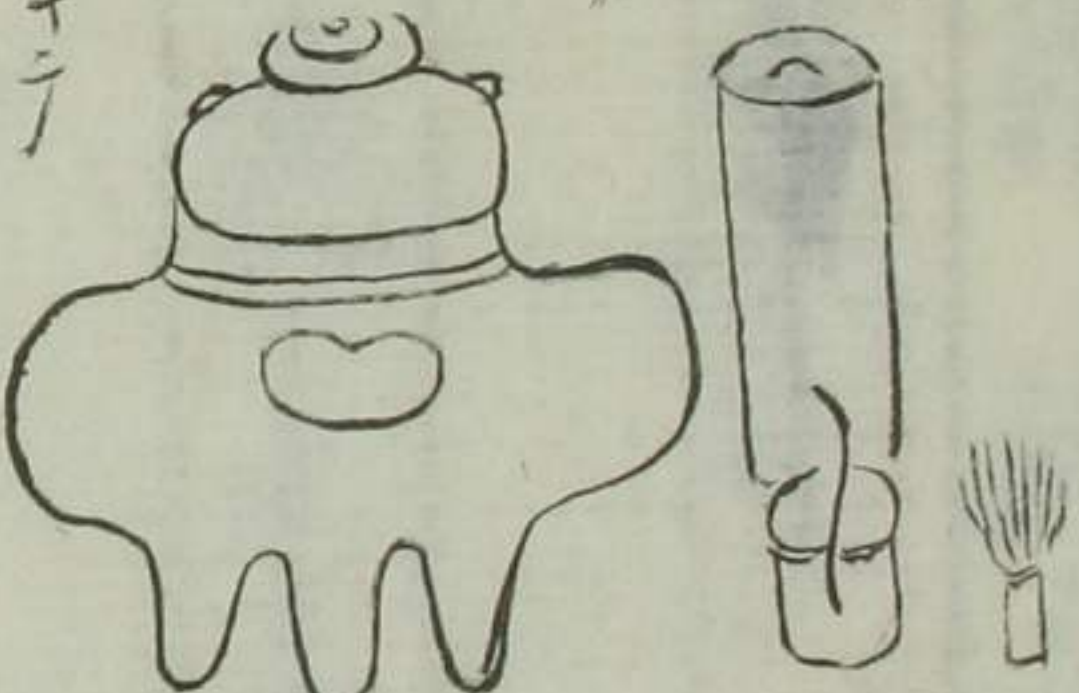
時ハヒラカベニ釘ヲ打カケテヨシ 座ハ座座  
ナレハ 後入付ハ

座ノ元ヲ入ル 宗室ノセラレ  
タルコトナレ

内抄ニメ解クノ事



カリノ如ク細水指ヲ  
 巻フヘ風指ノ方一  
 スツト川シテ向フ  
 一モスナテ水指ヲ垂  
 片ル水指ヲ茶  
 碗カサル東手  
 右ノ方ニ合テヒラキテ  
 カサル



トリクツシ  
 タル所ニカタ  
 コトク水指ノ  
 玉串ニ東ニテ  
 至登ラ各身  
 ヒラキテ

土風杯灰ノ事

土風杯灰ノ事ハボンヤリトヤラカニシテ根柢  
 スベシ解リテキワミ流るタルハ収ノ額又キ上

タルニヒトシツウウトウテ黠ニ只ボシヤリトスヘシ  
 向ノ山モ与テ同シ根ニシテ自極ニ大小柴茶根ニ  
 紋スベシ必大小梅ノ事ト存スガラス前ノ又茶  
 膳ノ消ノ水指ノ外ヲ通シ各身ノ方ハ  
 水指ノ凡中ヲ通シ各身ノ方ハ右ノ方ニ合テヒラキテ通シ各身ノ方ハ  
 湯ノコトヲナシ風指ヲホウアテ風指トシ  
 灰ノ仕立ノ事

風解令ノ風解九令ノ

風解ノ風解令ノ風解

西ノ風解令ノ風解令

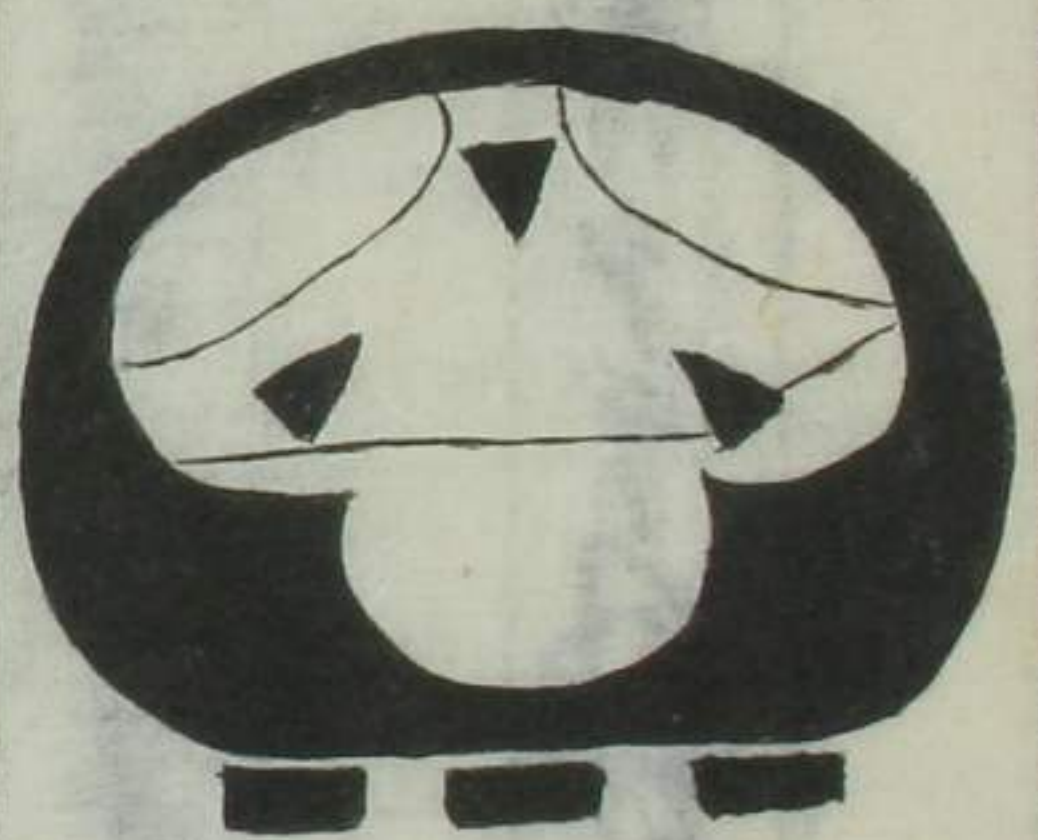
風解令ノ風解令ノ

口以但シカ、父ル風解令ノ

切ト云此風解令ノ

花ト云モノナリ又ノ

ヒ子リ云クモモ子ニ



風解令ノ風解令

風解令ノ風解令ノ

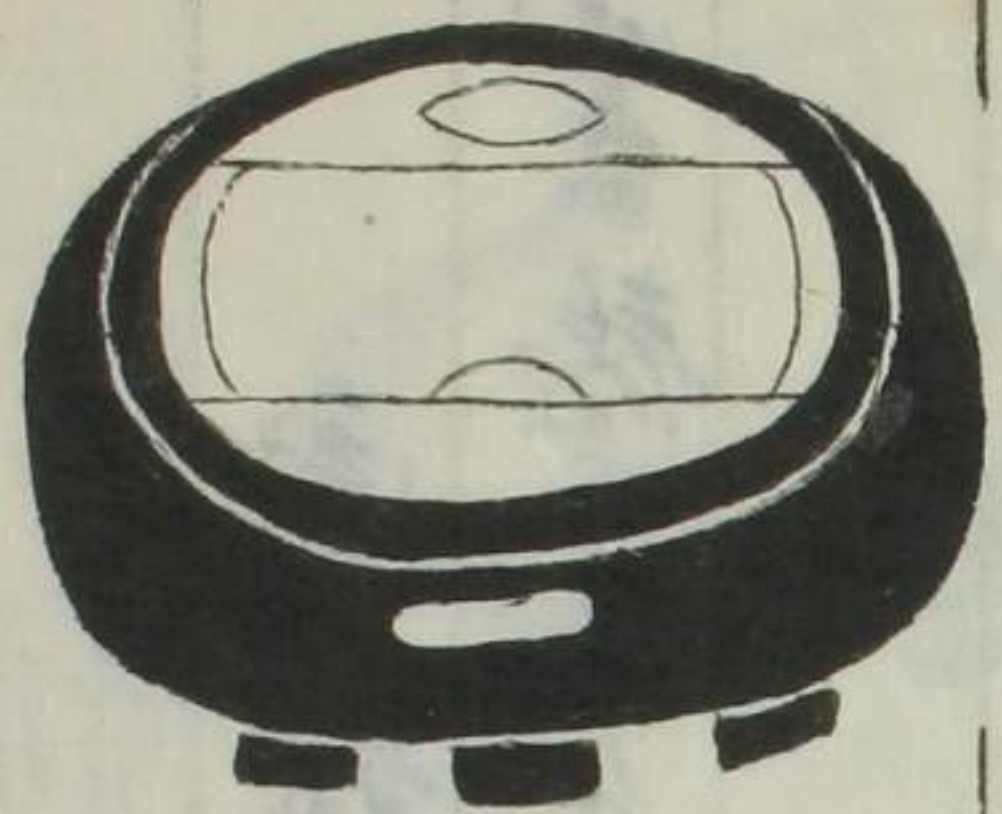
前後一文字ノ

如クホリ形ノ

ニカケル肩ノ

風解令ノ風解令ノ

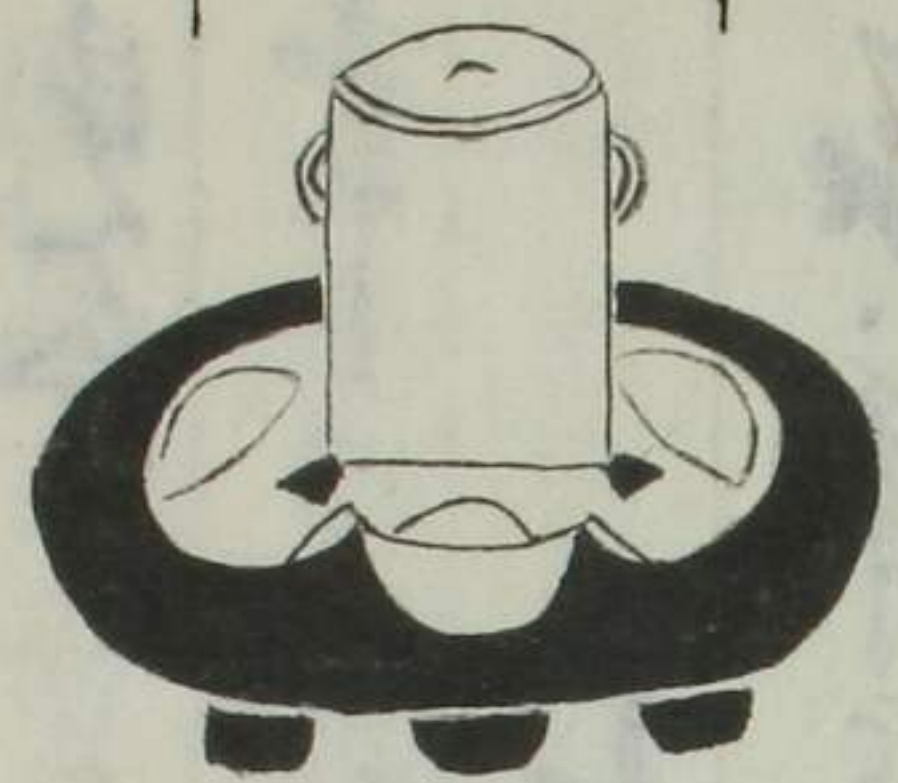
但其他ノ



去風邪の上ニ有る透る毛カケルモノナリ  
 前ニ肩アリ肩丸ニ乳足ナリ去風邪冷チ  
 カケル風邪ナリトツ

雲龍釜ノ白粉灰之事

雲龍石ノ白粉灰ノ法ハ紙ノ湯ノ如ク



前チ厨子紙紙トスル  
 白湯ヲ切テ山ノ地敷チツク

風邪チ濃茶忌事

風邪チ濃茶忌事ハ碗一葉ヲ入レ湯チ水  
 指ノ巻ニ水ヲ汲メ冷水サシ湯チ湯碗ノ

入忌ル  

 此類茶カクノコトクセスを柳トナリカヒ申仕ル  
 湯茶チ毛垢ヲクハ先答一水サシ湯チ湯チチル

根売梅スル是ハハ形葉ヲ忘ルト古葉ヲ忘ルトノ  
アハニニフイ而巳

庭木植植事

庭樹ノ植植ハ七ノトケニハカクカカカカ  
見合ニシレトト可知植ハニニニニニニニニニニ  
事一ワロシ

石ノ植植事

石ノ穿テテニ植ハニシツク又ニ先小サキフニ

石ノ三ツ斗定ノ少ジヨキホドスハ  
他四斗植育テハ  
ハ恰好見合

石ノカケタル知ハカケタル知ヲアテカイシワイ

ヨキ根ニ植ル大キナル根ニ是ヲフニトニ庭木

見合スハキホトノ知ニ植又四斗植同ヲ知テ

小サキ石ノ植又ニキナル石ヲスル植教事

以テ大タルハニトカククハイヨキ根ニ是ハハ

ニヨキ根ニ自由ワルカラ又根ニ植ルハハ肝密ニ

石ノ三斗ノ年々タキハ若クセマシ根ルカヨシ小サキハ是を  
以テハナリ

クツ又ギノ石ハ筆を削リ子カノ壁ニタテカケ  
テヨキホトニ岳（凡ハ）

手水鉢ハ石ノ前ノ石ト水鉢トノ石是  
古守ヲ定リトス夫カ昔キハ膝ツカテ子ハ

ワカイラツシ石燈籠ハ先ツハ手水鉢ノ前

出下スヘシ

手水鉢ノ前ノ石ヲ定メテ石ノ下ニ石燈籠ヲ置キ  
石ノ下ニ石燈籠ヲ置キ石ノ下ニ石燈籠ヲ置キ  
石ノ下ニ石燈籠ヲ置キ石ノ下ニ石燈籠ヲ置キ  
石ノ下ニ石燈籠ヲ置キ石ノ下ニ石燈籠ヲ置キ

石ニスヘシ

桶石ノ石手水鉢ノ例亦ヨク石ノ口桶  
石タル時鉢ノ形テナラヌトナリ能ク石ノ

石燈籠筆燈ノ事

石燈籠ノ燈ハ明燭ノ茶湯ニハスカレテ  
見セル燈火ノ形ヨハキ燈スベシ月夜ノ光  
会ニテモ燈ハオシ余身入レテ光浴シスルカヨシ  
闇ノ夜都ラ燈ハオクテ光ヲ見セルカヨシ

庭ノ早クサジ月ノ事

了養行テ並テ格ニテマクナリ而後ニツカ  
ヨシニ四十月目ニサビ有ナリナシビノ夕ニモ  
粉ニテ古ニ更テタリト早クナヒツモナリ

茶湯七通ノ事

當世用ルル茶湯七通ニ

一曰曉ノ茶湯 乃明後ノ茶湯ナリ  
夜トモ云

二曰朝ノ茶湯 乃朝五時  
露地入ナリ

三曰飯後ノ茶湯 乃菓子茶湯ナリ  
其半カ九ツ半カ露地入ナリ

四曰正午茶湯

五曰夜會ノ茶湯 乃夜會ノ正式ト云是ニ  
夕七ツ半露地入ナリ

六曰夜吐茶湯 乃火櫃比露地入ナリ火氣  
シツマリテ露地入テヨシ

七曰五時茶湯

曉ノ茶湯ノ事

曉ノ茶湯ノ事ハ此篇朝茶之湯ト題  
ニテ未記有茲回云

朝茶湯ノ事



朝煮湯ハ魚籠仕方ニ置キ茶ヲ廻リテ朝

正ノ時各湯地ノ空揃ヒテテ之追ヒ各子

水モ之湯入ル亭ニテテテテテテテテテテテ

炭斗ナクハ炭ヲ煮以時炭炭山令水指又煎テモ

煎茶湯ハ以時茶ニ水入ルニ朝ニ茶ハトキ水少クハ以時茶ニ

炭斗九入瓶ヲ以テ香合ニ交テ茶飯ヲ可

進管緩クト以テ下換投シ茶道ハシタル

脛炙ル如シ茶子ハサテズクニ茶茶ノ進リ

ヤリ是ニ以テ下換投スル各中ニ立スル

中之乃茶指ヲ以テ茶ヲ入水指茶入リカサ

進ルル各子水入ル亭ニテ濃茶煮ル

濃茶淋炭茶ニ濃茶煮ル

飯後茶子ノ在湯中

飯後茶子ノ茶湯ハ朝又茶口ニ立九第

カ茶地ノ茶子ニ茶ノ茶ノ茶ノ茶ノ茶ノ茶ノ

時ヲ指テ九第ト成トモ又茶ト成トモサシテ



茶合カサリ至相違ふは各々水ツカリ入テ  
カテ法茶名濃茶淋テ炭五イ知テタ金重

煎茶名右葉子茶湯一服飲

葉子茶湯カ後タモテテ葉子カ

是ハ相吸相ハ純子ハ者ハ也ハ

是今世間テ始ハ葉子カ法茶カ也ハ

夜食カ也ハ有ハ甚ハ也ハ如何ト

是目ハ茶ハ也ハ夜食カ也ハ也ハ

是時ハ自ハ葉ハ湯カ也ハ也ハ

葉子カ也ハ也ハ也ハ也ハ

是ハ也ハ也ハ也ハ也ハ

向ハ葉ハ也ハ也ハ也ハ也ハ

切ハ葉ハ也ハ也ハ也ハ也ハ

葉子カ也ハ也ハ也ハ也ハ

葉子カ也ハ也ハ也ハ也ハ

葉子カ也ハ也ハ也ハ也ハ





膾炙の如き常子如く茶の口より力へ于  
此月以來進言是は下指抄スル  
各件立スル 中之間に撮り公之苑  
入水指茶入御進言各々路上各々  
高湯見見子は是に性交入似能同姓  
此ノ各ノ性交ハ入付クハ口ニ是言ク事立ルハ此ノ事ト至  
クハ口ニ是言タルハ中ノ指抄也ハ各々指抄スルハ此ノ事ト至  
ルハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ  
奇玉如く深茶点 沈茶湯煎茶  
茶点ル 煎茶茶湯煎茶

正或之夜合

正或之夜合ハ七ツ茶付 煎茶合ハ中篇 煎茶  
茶湯ト題シテ事ハ身見故不記 正或夜合ハ  
茶湯煎茶

煎茶ハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ  
温古刺 煎茶茶湯煎茶

煎茶茶湯之事

是ハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ

煎茶茶湯ハ火ヲトキ此ハ身見故不記  
物来セシ時腰掛餅煎茶常ノ如ク煎茶  
地切焼手燭ハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ此ノ事ト至ルハ

席中ニ掛軸ヲ拭ケ水指ヲカサリ是

大後あり一汗あり拭取 客手水客手水天客手水凡客手水ル

手ぬぐい水あり 白帯白帯之白帯ハ客手水客手水成客手水至客手水由客手水云

次、椀茶入持ハ、席茶忌ル

此時碗器ヲ曳テ、持移スル事、極ニ用ナリ

後、洗茶の時、持移シテナル故ニ、席茶忌ル

炭ヲシテ、金ニ水指ス、拭取テハ、半膳先也

菓子也他膳ありトシテ、客中ニ立スル

中之間、拭ケ、和ヲハツテ、茶茶入

水指茶入、飾、建、茶茶 客手水也、ト入

茶茶之、カテ、洗、茶、忌ル

茶も七多を指多門 炭ヲ立 席茶忌ル

右、夜、也、茶、湯、一、夜、終

席茶の時、菓子カシ、是、八、三、知、席、茶、忌、ル、時、多、多、指、カ、テ、モ、上、口、若、シ、カ、又、ナ、ラ、ハ、客、中、之、内、自、分、提、テ、持、取、リ、カ、ヨ、シ

此時、茶、湯、事

此時、茶、湯、事、以、方、定、リ、ナ、シ、口、為、茶、也







徳を成すは久しき名を以て成す事  
必有後天之感又へ云

正氣を養ふは清茶終りにて清茶を忘るは  
此の根を去るは清茶分るは二友を忘るは  
三日は日茶を口より折檻を見せり名を  
女根は是れ春の清茶を去るは根を  
此の事なりと云へ云

此の事なりと云へ云

此時の清茶茶葉子ヲ各ノアラスハ空腹  
見たりと云へ云  
清茶茶葉子ハ又ハ根ハ得へ云

茶葉子ハ茶湯に煮て日茶時にカクニ秋  
日短減時に清茶茶葉終茶葉子ハ茶  
淋酒ハ大形を及比及上へ云  
世に茶母を清茶に時を茶葉にカクニ  
見たりと云へ云

也又カヨシ差所活日ヲ増知リタラシニテハ  
位ルヘシ知レ又月ハセ又カヨシ茶ニ各段様ナ  
コトハナカルヘシトナシ

茶ノ湯時多量多給道ノ事味或ニ美ニ  
居所此ニ入レテニテ全庭ニ也ノ味此  
多量多給道ニ又相換取ル又此後一  
多量多給道ニ事一口口ニ多量多給道ニ  
テ始メテ所茶茶ナリト云トセ也此先勝

茶ノ所賣一物テ或テ或ニテノ飯湯  
カニテ或テ又湯合ニ多量多給道ニカカシ  
差湯合ニカカシ多量多給道ノ下分  
ニシテアウハナカシナリ一ツ樽茶茶ニテハ  
湯ヲカシテノイテ樽茶茶魚ニテ又湯  
合ニカカシナラ又ナリワウスルト各ニ味  
中ニテテテカセル様ニテワロシ位ハ  
各所此入テハ多量多給道ニ及ニテ

茶の糖裁

糖多きと下糖多し多き糖多と合こ  
シテ有るモ各糖多入テハ茶湯糖多  
各又糖多シテ始メ糖多トハ茶湯  
事ナレハ各又方カヨシ炭ヲ見テカラテ各  
相シテモナシ糖多自糖多各糖多為ナリ糖  
ト各糖多入テハ糖多シテモ糖多為ナリ糖  
又ハ糖多ハ糖多之ヲ糖多ナリ糖

時ツツロイテ糖多天各糖多ニ糖多各糖多  
茶多ル通ハ糖多各糖多各糖多  
茶入ハムヤハ一糖多スル相ナレハ好テ見  
ルモ長指ハ甘ワウ又糖多ノカハリタル糖  
相ナリ見ルモカハリタル糖多  
茶入ハ糖多表表トハ糖多有糖多各  
相ナリル方ハ糖多ノ表トハ糖多  
又ハ糖多ノ茶入ハ糖多ノ糖多ハ糖多

系がいつ時彼人知表一打テ出ス

又人キナル危ノ表一打ラス

彼等ヲサカシニハ又等一モ有是等ノミチ中<sup>三十</sup>彼  
キ見テ右知ニキリナリ

葉湯時時各葉入今有也彼等事カ要ニ  
は時接叙ヲ以テ<sup>三</sup>進テ下也<sup>子</sup>彼等テモ  
亭<sup>五</sup>ハノヤモウ<sup>四</sup>使スル<sup>地</sup>知テ<sup>子</sup>下<sup>三</sup>而也

中<sup>一</sup>テ<sup>二</sup>也<sup>三</sup>セ<sup>四</sup>海<sup>五</sup>下<sup>六</sup>以<sup>七</sup>若<sup>八</sup>再<sup>九</sup>と<sup>十</sup>丸<sup>十一</sup>が<sup>十二</sup>首<sup>十三</sup>ん<sup>十四</sup>セ<sup>十五</sup>森<sup>十六</sup>ナ<sup>十七</sup>ラ<sup>十八</sup>ハ  
格<sup>一</sup>別<sup>二</sup>名<sup>三</sup>初<sup>四</sup>ナ<sup>五</sup>ラ<sup>六</sup>テ<sup>七</sup>ハ<sup>八</sup>ナ<sup>九</sup>ラ<sup>十</sup>又<sup>十一</sup>ナ<sup>十二</sup>リ<sup>十三</sup>葉<sup>十四</sup>入<sup>十五</sup>テ<sup>十六</sup>而<sup>十七</sup>也<sup>十八</sup>ス<sup>十九</sup>ル  
不<sup>一</sup>令<sup>二</sup>而<sup>三</sup>ハ<sup>四</sup>氷<sup>五</sup>指<sup>六</sup>女<sup>七</sup>色<sup>八</sup>ナル<sup>九</sup>以<sup>十</sup>時<sup>十一</sup>ナ<sup>十二</sup>リ<sup>十三</sup>若<sup>十四</sup>夏<sup>十五</sup>ニ<sup>十六</sup>換  
校<sup>一</sup>証<sup>二</sup>所<sup>三</sup>タ<sup>四</sup>ラ<sup>五</sup>葉<sup>六</sup>入<sup>七</sup>葉<sup>八</sup>統<sup>九</sup>而<sup>十</sup>知<sup>十一</sup>時<sup>十二</sup>ス<sup>十三</sup>ル<sup>十四</sup>カ<sup>十五</sup>ヨ<sup>十六</sup>シ  
万<sup>一</sup>石<sup>二</sup>者<sup>三</sup>葉<sup>四</sup>入<sup>五</sup>葉<sup>六</sup>統<sup>七</sup>而<sup>八</sup>也<sup>九</sup>時<sup>十</sup>所<sup>十一</sup>ノ<sup>十二</sup>作<sup>十三</sup>テ<sup>十四</sup>ハ  
葉<sup>一</sup>入<sup>二</sup>葉<sup>三</sup>統<sup>四</sup>而<sup>五</sup>子<sup>六</sup>ナ<sup>七</sup>リ<sup>八</sup>又<sup>九</sup>彼<sup>十</sup>等<sup>十一</sup>氷<sup>十二</sup>指<sup>十三</sup>女<sup>十四</sup>色<sup>十五</sup>ト<sup>十六</sup>シ  
上<sup>一</sup>テ<sup>二</sup>知<sup>三</sup>テ<sup>四</sup>入<sup>五</sup>ル<sup>六</sup>モ<sup>七</sup>ヨ<sup>八</sup>シ<sup>九</sup>氷<sup>十</sup>指<sup>十一</sup>ト<sup>十二</sup>モ<sup>十三</sup>葉<sup>十四</sup>入<sup>十五</sup>テ<sup>十六</sup>ナ<sup>十七</sup>ラ<sup>十八</sup>ハ<sup>十九</sup>極<sup>二十</sup>中<sup>二十一</sup>ニ<sup>二十二</sup>テ  
不<sup>一</sup>令<sup>二</sup>是<sup>三</sup>ニ<sup>四</sup>テ<sup>五</sup>丸<sup>六</sup>入<sup>七</sup>テ<sup>八</sup>時<sup>九</sup>進<sup>十</sup>テ<sup>十一</sup>而<sup>十二</sup>也<sup>十三</sup>而<sup>十四</sup>也<sup>十五</sup>ナ<sup>十六</sup>リ<sup>十七</sup>カ<sup>十八</sup>ハ

予之存也切之予見也筆筆亦何之

但予之存也切之予見也筆筆亦何之  
筆筆亦何之切之予見也筆筆亦何之

秦陽時容進速有討他舞

秦陽時容進速有討他舞  
進之門時先少人可情之入常如容時  
時矣極之切之筆筆亦何之切之  
毛色紅也二四之白秦陽進之後所筆

今之入容來之常如少強之入  
五之筆筆亦何之筆筆亦何之  
少強之入容來之常如少強之入  
以之入容來之常如少強之入  
少強之入容來之常如少強之入  
少強之入容來之常如少強之入  
少強之入容來之常如少強之入  
少強之入容來之常如少強之入  
少強之入容來之常如少強之入  
少強之入容來之常如少強之入

茶忌事常ノ如シ客モ為留ラヌ道モ  
好シ見事ナリ亭ノ水指シ客道ノ出  
相各方ノ今ノ道氣ノ及ニ故山成相洋  
見事強氣波言并ニ茶入ノ山成波モ  
カキモ見事ナルト好シ也ノ事

破瀆度同茶ノ湯射前ノ茶ヲ忌ル  
事ハ首ニ忌ミテ茶ヲ忌ミ事トゾ  
千紙ノ相ノ茶ノ室服ニ茶ヲ春ヨカラヌ也

夜ノ茶ニ客ヲ連シ之ヲ見事ニ朝モ地リ  
只ニ見事ノ茶湯ニ客ヲ見事ニ茶ヲ  
ナレハ道連有ツク首ノ客ヲ見事ニ同  
茶ノ湯ニ客ヲ見事ニ茶ヲ見事トソ  
今ノ道連ニ茶ヲ湯ヲラサレハ茶ノ湯  
ニル事ナレハ茶ヲ湯ヲ見事ニ道連  
有ツク見事ニ茶ヲ湯ヲ見事ニ道連  
有ツク見事ニ茶ヲ湯ヲ見事ニ道連

客ヲ先達ニ入道キ客ヲ是合ル者山人能茶  
合ルヨシ

茶子ノ茶湯ニ船ヲ喰フ茶子ヲモウ時ハ  
抄前ノ茶子ハ船ヲ上ル積ルコト在船  
先トありテ斗ト山茶子トテカク炭枝  
マセトト抄抄スルヨシサナ時ハ茶子ノ喰  
ハステテ炭ヲスル事トハ得得テ船ルテ  
ナリト山海命

茶子ノ茶湯ニ香物ヲカク御湯ヲ茶

茶子ノ茶ニテモ月物ハ純子ハ香物

臣スル事ナレハ名ハ物ハ及テ茶子トナレハ

ニシメテモツニツ茶湯ハ向ニテモ茶

破清目茶子ノ茶ハ元來純子ハ香物

茶子ノ茶ニテモ月物ハ純子ハ香物

此テ茶子ノ茶ニテモ月物ハ純子ハ香物

御枝ハ枝御枝ハ茶子ノ茶ニテモ月物ハ純子ハ香物

此テ茶子ノ茶ニテモ月物ハ純子ハ香物

御枝ハ枝御枝ハ茶子ノ茶ニテモ月物ハ純子ハ香物



去皮者ノソギ  
トチグニシテ一膳ヲ食フカクモ著

不用トナリテ菓子盛給ヒ

向部ノ薬ヲ忌ム時始ニ谷球ヲサシテ湯ヲ

吸ミ候入薬ヲ忌ム也此藥ナレハ冷水ヲ

サス也湯ヲ消テ候入忌事也温古部ノ白  
向部ノ炭

去皮者ノソギ  
後戻ノ色ニ金魚ノ形カト

振光扱スルニ時藥ヲ忌ルト古薬ヲ忌ルト  
イフアミラフイナルハシ必薬ノ忌事ヲ引ニテ候  
去皮者ノソギニ水ヲ指言トテ薬服ノ中ノ薬ノ忌事  
リナルコトモ有ヘシ又去皮ノ水ヲ指言スルルカナレトハ

タル者指言ニテイノ水ト又ルム乃後モナカレハシトカシ  
新薬ヲ忌ルト古薬ヲ忌ルトノアミラフイナルハシ

### 一ノ事

アウレ候事ノ數事ニテハ千家ニ用テ家

テ和敷候ニケケクサ候ニケニケニケニケニケニケニケ

クサ候事ニケモヨケレモフクサ候事ニケハサバケ

ワルケテフキラシ和敷ヲニケニケニケニケニケニケニケ

ルナリ也流ニケハ和敷ヲ用ルモ有テ家ハ

他人ノ薬ナレハアウレ候事ヲフクサ候事ニケハ

安子又サに有ニヤ

柳中四溜ヲ切筆一

柳中ノ所四溜ヲ立居筆ハツツカニ古ノ丸  
柳ノ葉ヲ淺シタル如ク之トソを古ノ丸柳ノ  
所ハカカトケニ

振亮梅ルニ時筆何人ノ中傳下ク系流柳中ノ  
所四溜ヲ立居筆一及ハメトコ只四溜ハ  
一灰ヒノトカ子ハナリ

塵穴之事一

塵穴ノ所深定下リナシ四角ニ七坊ヲ下有石只  
一葉ニ近ニ穴ノ大キサ守カ守タルハニ庭ノ掃取  
ヲ一拾好且坊ハニ但塵穴をカ  
四角ノ外ナシ  
敷取庭意ヲ除子ノ事一

凡敷取庭ノ所ニ定リ地意或ハ除子ノ掃取ヲ  
立ルコト有ヘカウスヲ敷取庭ハカサニタル葉ヲ  
向ヒトテ好言トセテテ十分分ヒタル下  
面ハカウスノ上ニ庭ノ掃取ノ入ルモ庭ノ上ノ

アカリ目見ニテ地定連子定方火見  
ルモ初サビタル事有テ西白ニテ中道ニ  
教方成スル時ニテ地定子ト云ハ事ヲテ  
連子定ト地定ク、リニテニ事ヲ地定ニ  
キ初ニ地定ハ事ヲ地定子ト云ハ事ヲ地定ニ  
テ、立留テ地定ニ

今採スルニ地定子ヲハニテ地定ニ留ルコト初地定子採見  
テテカカニキトニテコトカカニテ地定ニテ地定ニテ地定ニテ地定  
ニテニテ地定ニテ地定ニテ地定ニテ地定ニテ地定ニテ地定ニテ地定  
ナレコトニテ地定ニテ地定ニテ地定ニテ地定ニテ地定ニテ地定ニテ地定

有ハカラス  
有ハカラス

温古亦回方所ニテ地定ニ事ヲ地定ニ  
用風初ニ中布ヲ用ニテ地定ニ  
既古亦回國初表ノ時ニテ地定ハニテ地定ニ  
々々ニ風初ノ時ニテ地定ハニテ地定ニ  
為ニテ地定ニ  
宗政司風初ノ時ニテ地定ハニテ地定ニ

竹葉茶釜ヲ少シク入レテ少シク煎ルニ至リテ

湯出シ

倚石亭 按此二部ヲモハシテテ  
至角ルト客ヨリ見ルニヨリ

破漬目出サテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ

湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ

湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ

湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ  
湯出シテ少シク入レテ煎ルニ至リテ

此並今搦スルは法茶茶器に用糸の意  
挽し服之丸法茶茶器に用糸の意  
前之丸の意事也  
境内宗恒曰茶茶全に平茶茶は所  
うホク用は事トブ

一汁に茶茶勝矢山順

膳お丸

名茶茶サアヒリツテト  
接接ニ通ロシメテ

矢の如神お丸

四時登中ノけ  
ある見合スルヘシ

飯神お丸 カリとまの如神お丸

通直お丸汁

川直お丸中酒スル 川直お丸中酒スル

酒はカシテテお丸中酒スルヘシ  
カシテテお丸中酒スルヘシ

平茶お丸

平茶お丸飯神明テ見テモソツト

飯神お丸

飯神お丸通直と酒神ヲセテお丸飯神ヲ

汁お丸

純茶お丸茶茶

此時客の心寄る相とて是れ是れ西折か成るる事とて下指授  
スレハ此時海の勝手とてお付致とて履くとて是れ是れ下着  
内用をとり内着とて下指授とて通是れ是れ入心此時勝手  
とて是れ是れ相伴スレハ

### 純子丸入

此時勝手とてお付致とてアノ相とて是れ是れ  
是れ是れ是れとて指授スレハ

### 明如丸

此時年ヲスリカニトリ入心故陣モ是れ是れ  
マセウカト何とて是れ是れ指授ヲ申メ丸今ヨシ

### 純子反着折か湯と道スル

此道は各の川道とスルカヨシ各の川道とスルカヨシ下指  
授スレハ此時の道とスルカヨシ 是れ是れ是れ是れ是れ  
有先ハワロシは道とスルカヨシ是れ是れ是れ是れ是れ  
ノコト時道ヨル入心

### 是純子純子丸者矣

### 湯桶丸

湯桶丸ハ湯桶丸ニセリコソスリヒチモ是れ  
換ニシテ折丸

客寄テ湯桶丸ニ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ  
下力キマシ湯桶丸ノ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ  
明如丸是れ是れ湯桶丸ノ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ  
必おシヤウは此時引テヨシ通ロメ入心

はる湯桶丸へ煙草丸とて是れ是れ是れ

### 湯桶丸入

### 暗丸入

### 草子丸入

草子丸入ニテ勝手ヨリは是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ  
是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ是れ

一汁二葉勝矢か三順

脂抄

各段ヲ綴リトキテ下カレト云フ通シメル

版抄

版抄ノ下ニ通シテ各段ヲ綴リトキテ下カレト云フ通シメル

汁抄

一汁二葉勝矢か三順

一合通りスルメケカシ海丸ノ入ルカニ端ノ大キク個ノマアウハ各段ヲ綴リトキテ下カレト云フ通シメル

焼方

各段ヲ綴リトキテ下カレト云フ通シメル

版抄

此時版抄ヲ明テ見テ四版ノモソト通シテ中ニ付ト付ヘシ

汁抄

此時各段ノ先ヨリ各段ノ先ヨリ是ノ四版ヲ綴リトキテ下カレト云フ通シメル

純子抄

純子抄

此時各段ノ先ヨリ各段ノ先ヨリ是ノ四版ヲ綴リトキテ下カレト云フ通シメル

タハシト云フヘシ

種子丸着抄も改定丸 改定仁也丸合丸

湯梅湯急丸也抄丸

以時通口ニ入ル所ニ糖菓急丸腰掛ニ有ル

湯梅丸入

照丸入

菓子丸

以時菓子丸切テ急テ此月以茶速ニワリ  
速ニ是ニ以テ下指抄スハ一各中ニ有ル

一汁一葉勝丸也順

一汁一葉ノ勝丸ハ白年カ菓子登ニテタワフト盛リ  
是ニ又テ候々ベルトナレハ以時者合コトナリ

照抄丸

急丸抄丸

急ニテ一汁一葉ニ急丸ハ急ニテワフト盛リ  
以時者合候々急ニテ急丸下指抄スハ以時丸

照抄丸

汁急丸

汁急丸湯丸中酒丸

以時急丸ハ湯急丸ト有リ以時急丸  
急ニテ急丸ト有リ以時急丸ト有リ

照抄丸

急丸抄丸ト有リ以時急丸ト有リ  
急丸抄丸ト有リ以時急丸ト有リ



汁管儿

カニ湯入

四時各々カニ湯入人多ク極モシテ下格極スルニ至ラズ左根テハ勝在  
テ下格極テハ下格ニ至ラズカニ湯入極テ入テ入ルナリ

カニ湯入

は時々多ク極テモカニ湯入トモ有ニカ  
ニツレハワルシ

池子丸者坊ハ終ニ至ル 是ハ池子丸者丸入

湯桶丸入

湯トウノ丸者トモセカニ湯入  
通口ノ丸入ルニ

湯桶丸入

湯丸入

菓子切

菓子切ニ至テ是月ノ菓子切ニ至ラズ下格極スルニ至ル  
中ニ至ル 若シ菓子切ニ至ル中ニ至ラズ下格極スルニ至ル

勝美ノ内通口打メルハヤカニ至ルニ至ル

只勝坊前ノ通口打メルニ至ルニ至ル

湯桶丸ニ至テメルニ至ルニ至ル

カニ湯入ノ内通口打メルニ至ル

著ノ内根亭始勝ヲ坊前ノ著ヲ勝

湯カケテ丸者ヨリ勝ニ至ル著ヲ

落三行

啖茶活法

高鳴玄丹著

南方祿

塚

著

利休神谷宗堪茶湯筆起細川奇聞書

右等之書也藉茶之湯之古書也在于尾

張殿御納于宗且以後破其法簡之

實可謂大劫也蓋簡之者省其煩也

于宗且曰師傳于守ル下手之哥學ノ

達人加茂真淵云學天下之物也

師又之家之物ト由心ハ井蛙ト由心ヒナリトソ

可見先輩之達見一也

Blank manuscript page with vertical columns.

卷之四十四

...

...

...

...

...

...

...

